



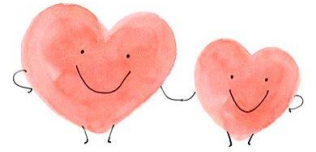
# 令和 6 年度兵家連『地域生活の理解促進事業』のご案内

講師：明石市基幹相談支援センター 後藤謹武所長 他  
『親なきあとの子供の在宅支援を考える』

1. 日時

令和 6 年 10 月 27 日(日)

時間：13 時 30 分～16 時 00 分(受付 13 時 15 分から)



2. 開催場所・定員

明石市総合福祉センター大会議室(山電林崎松江海岸駅から北徒歩 8 分)

定員数 70 名

3. 講師 明石市基幹相談支援センター 後藤謹武所長 他

4. 参加費 無料

5. 対象者

こころの病を持つ方、及びそのご家族、支援者、一般の方

6. 研修会の進め方

- ・ピアサポーター、相談事業所、居宅介護（ヘルパー）事業所、訪問看護ステーション、日常生活自立支援事業を担当する方々から経験談と各サービスの上手な利用方法をお話しして頂きます。

7. 主催 (公社)兵庫県精神福祉家族会連合会 (ひょうかれん)

8. 実施団体 明石ともしび会家族会

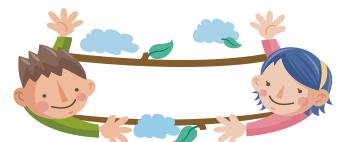
★参加申込票★ ※会場に人数制限があり先着順とさせていただきます。(10/25㍻切)

フリガナ 参加者名	住所(市・町)	家族会名/所属先の有無	電話番号

申込先(明石ともしび会) FAX:078-912-4455

メール:sakura\_koubou6687@car.ocn.ne.jp

内容お問合せ: 090-4280-8104(南部)



## 【親なき後ではなくて、親ある時に出来ることを！】

親として、兄弟姉妹として、こころに病を持つご家族の方が将来一人暮らしをしていくためにどのようなことを準備すべきかを日々悩まれていることと思います。

本来なら、20代～30代で独立していく子ども、兄弟姉妹が、こころの病のために中々、一人暮らしが出来ない場合があります。

最近では、こころの病を持っていても、様々な機関と相談して、福祉サービスを活用することにより、一人暮らしをして、少しずつ自分なりの生活を続けていけているケースがあります。

私達の子供は調子が悪いのに、一人暮らしなんて、できるのだろうか？



今回は、ピアサポーター（ピアポの会）講師以外にも、相談事業所（居場所）、ヘルパー事業所（HomeGround ひなた）、訪問看護ステーション（アイズ訪問看護ステーション）、日常生活自立支援事業（明石市後見支援センター）の方々から、一人暮らしをしている方への支援状況やその際の問題点、悩みなどを紹介して頂きます。

講師：明石市基幹相談支援センター長  
後藤謹武様のプロフィール

社会福祉士 精神保健福祉士

明石市基幹相談支援センターの活動の一環として、精神障害者に関する学校や自治会向けの福祉学習資料を最近作成され、地域への精神障害者への理解促進活動を続けられています。